

香港・台湾でのルビーロマンフェアの開催と県内事業者による上海での PR イベント等について

香港と台湾で石川県を代表するブランド農産物の一つであるルビーロマンの販売フェアを開催しました。2022 年以來、今回で 3 回目を迎える香港（そごう銅鑼灣店）では、8 月 15 日から 28 日の 2 週間、2020 年以來、今回が 5 回目となる台湾（微風百貨店復興本店）では、8 月 22 日から 28 日の 1 週間開催し、両地域とも、この時期の恒例イベントとして定着しつつあります。

店舗の販売員によると、毎年訪れる常連客がいることに加え、その上品な味わいや見た目の美しさが口コミで広がり、徐々に地元住民の間でも認知度が高まってきているとのこと。台湾では、ルビーロマンを使用したスイーツや関連商品の販売が行われたほか、県内事業者によるケーキの実演販売も実施され、親子連れなどが自宅用として購入する姿も見られました。このように、より気軽にルビーロマンを楽しめる機会を提供することで、幅広い消費者層に向けた PR を行いました。

今後も、ルビーロマンがさらに海外市場での販売を拡大できるよう、プロモーション活動を支援していきたいと思えます。

■ 県内事業者による上海での PR イベント

県内の食品や伝統的工芸品等を扱う 11 社が、中国市場の販路拡大を目指し、8 月下旬～9 月上旬にかけて訪中して、上海市内で BtoC 向けの PR イベント及び BtoB 向けの商談会を行いました。参加企業は、食品（日本酒、菓子など）、伝統的工芸品（輪島塗、加賀友禅など）、日用品（包丁など）といった多様なカテゴリーにわたり、それぞれの高い技術力を活かして商品を PR しました。

8 月 31 日には、在上海日本国総領事館において、約 120 名の招待者および一般消費者を対象にプロモーションイベントが開催されました。各社はブースで商品を展示し、試食・試飲を提供するとともに、来場者に対してプレゼンテーションも行いました。さらに、中国向けに作成された PR 動画を上映し、製造現場の様子が伝わることで臨場感が高まり、非常に効果的な PR 方法であると感じました。

9 月 3 日と 4 日には、市内のホテルで商談会を開催し、両日ともに約 100 名の現地貿易業者や経営者が来場しました。商談では、日本酒などの食品について市内のレストランから引き合いがあったほか、輪島塗などの伝統的工芸品については EC 事業者からテスト販売の打診がありました。こうした前向きな話が進んでおり、今後、一つでも多くの県産品が輸出につながるよう、上海事務所として引き続きサポートしてまいりたいと思えます。

■ 日中地域間交流推進セミナー

日中間の地域交流の促進を目的に、両国の地方政府関係者が集まり事例発表や意見交換

を行う「第20回日中地域間交流推進セミナー」が、8月22日と23日に内モンゴル自治区呼和浩特市（フフホト市）で開催されました。内モンゴルといえば広大な草原地帯を思い浮かべる方が多いと思いますが、実際には中国有数の鉱山資源埋蔵地としても知られ、レアアースや銅などの資源が世界中に輸出されています。また、内モンゴルには、カシミア生産で世界トップのオールドス市や、中国最大の再生可能エネルギーの生産地があり、風力発電では国内の57%、太陽光発電では21%を占めています。

今回のセミナーは「イノベーション・グリーン発展」をテーマに、講演やパネルディスカッションが行われました。日本からは、愛知県、宮崎市、浜松市の代表者が、それぞれの地方自治体における取り組みを発表し、現状や課題について情報を共有しました。宮崎市の発表では、市上下水道局が下水汚泥から作る農産物栽培用の乾燥肥料を製造・販売しており、円安などの影響で他の肥料価格が高騰する中で、安価で環境に配慮した当該肥料が農家や市民から高い評価を得ている事例が紹介されました。

さらに、中国唯一の種子資源研究機関からは、砂漠の緑地化や生物多様性に関する研究発表がありました。これまでに鉱山跡地や砂漠の緑地化によって回復した総面積は2万km²にも及び、その規模の大きさに驚かされるとともに、最先端技術を活用した取り組みが地球規模で進行していることを強く感じました。グリーン発展は世界共通の課題であり、官民がリソースを割いて取り組んでおり市場も広がっています。そうした市場の具体的なニーズを今後も情報収集していきたいと思っています。



台湾でのルビーロマンフェア



県内事業者による上海でのPRイベント
(在上海日本国総領事館)



日中地域間交流推進セミナー